

2021年7月「花火」「夕顔」または自由

6点句

イカ売りも犬も見守るナイアガラ

惑星

特選 子牛

並選 一天・茜・井沢軽・熊猫山

特選

ナイアガラが見える花火観覧会場でのひとコマでしょう。たくさん露店が出ている中のいい匂いのイカのポツポツ焼き、花火に見入るお兄ちゃんも犬も可愛い、良い夏の風景、イカ焼きの匂いまで漂ってきました。

(子牛)

並選

犬も見ちゃう。ナイアガラは。(茜)

いろいろある屋台の中からイカを選択、一般的なヤキでなくウリとするとところ、下五を活かす言葉選びが感じられた。(井沢軽)

分かります、なんか見ちゃう。(熊猫山)

5点句

性交や前足のなき兜虫 鮭航太

並選 一天・茜・トホ・井沢軽・夜桃

並選

親指を犯されたことがあります。(茜)

生きることをストレートに表現した句、すごい力強い。(トホ)

上五でハツとして、その後に納得。実際に見た光景でないと出ない句ですね。(井沢軽)

怖いし気持ち悪い。けど「兜虫」をこの漢字にしたところでバランスをとりぎりぎりなんか読んでしまうという策略が成功していると思う。(夜桃)

遠花火遅るる音に戯れり 井沢軽

特選 一天・夜桃

並選 惑星

予選 鮭航太

特選

実感を感じる句であり、なんとなく家族の会話が聞こえる気がした。子供が遅れる音に冗談を言っている「姿」。遠花火でなければうまれない情景だ。(一天)

エロティックな句。花火そのものではなく「音」を描いているところが私的でエモい。短い語句の中に空間もストーリーも込められている。初めの漢字四文字「遠花火遅」が並ぶとふつうなら重たく分かりづらい印象になるところがこの句の場合は不思議な四文字熟語のような面白さも生んでいて何度も読みたくなる。(夜桃)

4点句

夕顔の道とそうでない方の道 光則

並選 一天・ナッツ・子牛・夜桃

並選

何の変哲ない分岐路。だが、夕顔の甘い香りがこの句の神髄。わたしにとっては限りなく特選に近い句。(一天)

すらっとして好き。(ナッツ)

だから？ と思いますが、何度も惹かれたこの句。(子牛)

説明系俳句。素っ気なさが味。ツッコミどころがあるので読み手の感情を逆に挟んでいける装置のような句。(夜桃)

夕顔のほどけはじめて闇来たる 惑星

特選 トホ

並選 井沢軽・熊猫山

予選 一天

特選

ほどける花の表現が静かで美しい。

(トホ)

並選

もう、ほどける、が何ともいい。開花をほどけると言わせるのも夕顔らしさかな。

(井沢軽)

ほどけはじめての表現が美しい。

(熊猫山)

生霊の寄す闇花二つ三つ

子牛

特選 ナッツ

並選 鮭航太・惑星

予選 井沢軽

特選

諸星大二郎先生ワールドがうかびましたが、精霊でなく生霊だ！ こ、こわい。特選にしてたけどこわいから並選。やっぱり特選。寄す闇、の寄すがいいなあ。(ナッツ)

並選

二つ三つという言い方が、生き霊はその辺に当たり前にいるよって感じがいい。夏らしい句だ。(鮭航太)

予選

読み方がよくわからなかったけど、闇花は花火のことですよ。(井沢軽)

わたしならもうゆふがおになりました
た 夜桃

特選 鮭航太

並選 茜・ナッツ

予選 子牛・熊猫山

特選

ひらがなだけを使ったこの句は最初なんかの暗号に見えた。内容の意味はなんでもよく、スパイが使っている秘密のパスワード。とにかく何回も反芻したくなるような中毒性がある。(鮭航太)

並選

どんな人かな会ってみたい (茜)

伯母が銀座のママをしていたので、夕方に着物を着てお化粧をしていた。お店の名前はゆり。あでやかさがまさに百合。夕顔は、ひとつぶろ浴びてお気に入りゆりいい。髪も自然乾燥な色っぽさがいいなどおもいました。(ナッツ)

予選

なんだろう、どういうことなんだろう、気になる。解説が聞きたい。(子牛)
どういう事でかしら？！ (熊猫山)

3点句

漆黒の湖面にそそぐ花火雨

トホ

特選 井沢軽

並選 惑星

予選 鮭航太・一天

特選

雨と詠んだことで、しっとりとした。周囲も明るくない地方の湖というのも旅情を感じる。(井沢軽)